

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
（支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）【大学】
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	富山県立大学		
設置区分	公立	学校種	大学
都道府県	富山県	事業期間	令和6年度～令和10年度
申請区分	大学（一般枠）	改組内容	研究科等の設置・増員
事業計画名	富山県立大学大学院情報工学系研究科・専攻の設置		

2. 事業概要

世界的にデジタル化が急速に進展する中、我が国では、データサイエンス・AIを駆使してイノベーションを創出し、世界で活躍できるエキスパートレベルの人材の発掘・育成が喫緊の課題となっている。こうした社会背景や人材ニーズを踏まえ、本学では令和6年4月に情報工学部を開設するとともに、本計画により、情報工学研究科の設置及び工学研究科の再編に取り組み、より高度な情報工学専門人材の育成に取り組む。 特に、データサイエンス・AIやビッグデータの分野を支える基盤としてセンシング技術に焦点を当て、センサ開発の高度化と充実を行い、そのセンサを活用する情報アプリケーションの研究開発を推進する。大学院生の研究を支援するため「IoE研究拠点（仮称）」を新たに整備し、情報分野におけるエキスパートレベルの人材の発掘・育成に取り組む。IoE研究拠点では、時空間ビッグデータを対象としてセンシングしながら、デジタルヘルスケア分野や、点検維持管理はもとより防災の観点での社会インフラ分野等における課題解決に産学官で取り組む。

3. 情報系組織

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

課程	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
博士	工学研究科総合工学専攻	10	6	R8減員	工学関係
	情報工学研究科	0	4	R8設置	工学関係
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
	計	10	10	増員数	0
修士	工学研究科知能ロボット工学専攻	20	0	R8募集停止	
	工学研究科電子・情報工学専攻	27	0	R8募集停止	
	工学研究科電気電子工学専攻	0	15	R8設置	工学関係
	情報工学研究科	0	62	R8設置	工学関係
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
	計	47	77	増員数	30
学士	工学部電気電子工学科	45	45	—	工学関係
	情報工学部	160	160	—	工学関係
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
	計	205	205	増員数	0

大学全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

	博士課程	修士課程	大学院計
増員前（R6.4.1時点）	100.0%	39.8%	46.6%
増員後	100.0%	49.4%	53.8%
増分	+0.0%	+9.6%	+7.2%



事業計画名 富山県立大学大学院情報工学系研究科・専攻の設置

基本情報	
改組内容	情報工学研究科及び工学研究科電気電子工学専攻の開設
所在地	富山県射水市黒河5180
増員する情報系組織名(博士)	情報工学研究科(博士後期課程)
入学定員増数及び増員時期(博士)	0名(令和8年度)
増員する情報系組織名(修士)	情報工学研究科(博士前期課程) 及び 工学研究科(博士前期課程)電気電子工学専攻
入学定員増数及び増員時期(修士)	30名(令和8年度)

＜社会や地域のニーズ・課題＞

- ・2030年に先端IT人材が約55万人、AI人材が約12万人不足(「IT人材需給に関する調査」)する中、エキスパートレベルのデジタル人材の発掘・育成が緊急的課題(「AI戦略2019」)。
- ・富山県成長戦略では、企業における生産性の向上、商品・サービスの高付加価値化に向けたDXを推進するため、その担い手となるデジタル人材の育成を重要課題としている。
- ・これらを背景に、県内産業界の代表者等で構成される県有識者会議は「できるだけ早期に、富山県立大学に数理・データサイエンスの専門教育を行う新たな学部・学科を設置」とともに、「より専門的かつ高度な課題等に対応する研究に取り組む大学院の設置を検討」するよう提言。
- ・こうした社会や地域のニーズに対応するため、令和6年度に「情報工学部」を開設するとともに、本計画により高度な情報工学専門人材の育成に向けたさらなる体制強化を図る。

＜研究科等の体制強化の概要・コンセプト・特徴など＞

- ・データサイエンス、情報システム工学、知能ロボット工学の教育研究に取り組む「情報工学研究科」を新設するとともに、工学研究科に「電気電子工学専攻」を開設し、情報系分野の入学定員を30名増員。データサイエンス・AIを駆使してイノベーションを創出し、世界で活躍できるエキスパートレベルの情報工学専門人材を育成するための教育体制強化に取り組む。
- ・特に、IoTを発展させ、デジタル分野の中でもセンサやデータサイエンス・AI、DX、GX等を対象とするようなIoE(Internet of Everything)技術の研究開発を行う「IoE研究拠点(仮称)」を新たに整備し、デジタルヘルスケアや社会インフラなど幅広い分野での産官学協働研究の推進や高大連携事業の促進を図る。

＜教育内容・育成する人材像＞

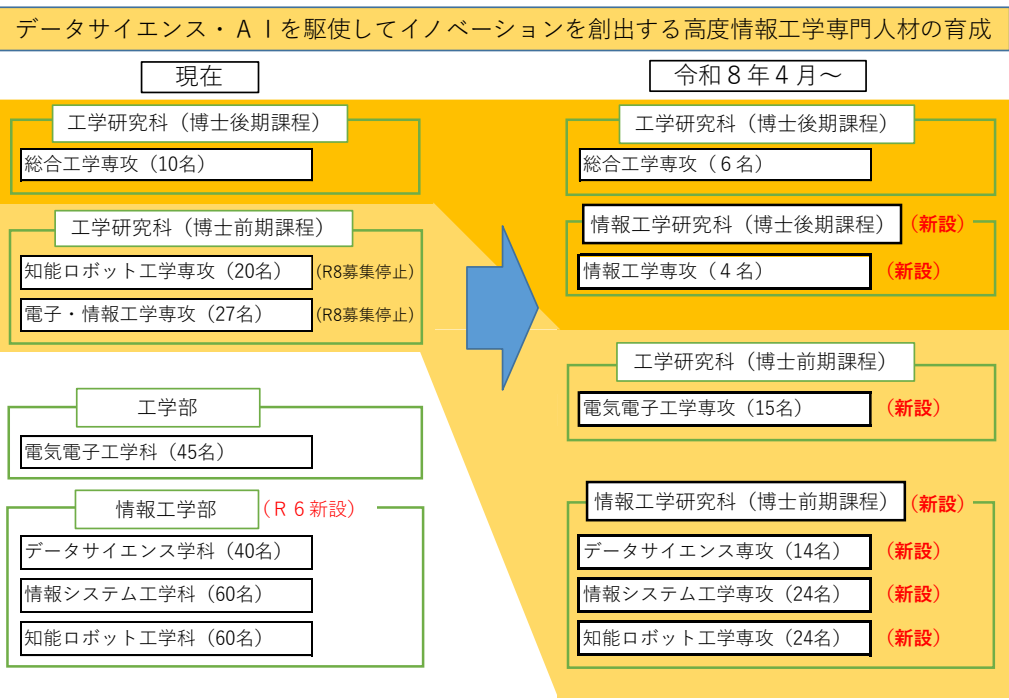
- ・産業界のニーズを踏まえた実践的・体系的な教育カリキュラムを編成し、充実した教員体制のもときめ細かな教育指導を実施。また本学が設置する地域連携センター、DX教育研究センター、グリーンAI教育研究拠点(R8開設予定)及び新たに整備するIoE研究拠点(仮称)において産官学協働による研究・開発を推進する中で、実践的な教育研究を展開する。
- ・こうした教育により、情報やデジタルの技術を軸に電子工学や機械工学など工学に立脚する科学技術と、数理・データサイエンス・AIの理論と応用実践に係る専門知識を兼ね備え、グローバルかつ分野横断的な広い視野をもって創造性豊かな研究・開発に取り組み、社会課題の解決や新たな価値創造に貢献できる高度な情報工学専門人材を育成する。

＜初中段階・他大学・高専・企業・自治体等との連携＞

- 〈初中段階〉小中学校や高校での出前講義の実施、高校が取り組む探究講座や情報教育への協力、本学キャンパスで実施する科学技術体験講座や高校生向けの研究紹介イベント等を通じ、小中高校生の情報工学への興味関心の高揚、最先端の研究設備等に触れる機会の創出に取り組む。
- 〈他大学〉大学間の単位互換協定に基づく学生の相互受入れ・派遣を対面及びオンラインにより行うほか、米国ポートランド州立大学をはじめ学術交流協定等を結ぶ海外大学と連携した共同研究の推進、教員・学生の交流促進等に取り組む。
- 〈企業・自治体〉本学が設置する地域連携センター、DX教育研究センター、グリーンAI教育研究拠点(R8開設予定)及び新たに整備するIoE研究拠点(仮称)において、リカレント教育やリスキリング支援、セミナーの開催、企業・自治体等との協働研究事業を展開する。

＜女子学生、社会人学生、留学生等の確保＞

- 〈社会人学生〉県内企業に従事する技術者等を対象としたセミナーの開催、リカレント教育やリスキリング支援に積極的に取り組むほか、産学官による協働研究事業を展開し、民間企業や地域、行政など幅広い方々が最先端の情報工学や研究設備に触れられる機会を創出する。
- 〈女子学生〉これまでのダイバーシティ研究環境実現に向けた取組(女性教員限定公募、女子生徒を対象とした学部学科紹介や出前講義、イベントの実施等)を継続し、女子学生の確保を図る。



※情報系分野に係る学部・学科及び研究科・専攻を抜粋して作成